

▼今月の『ポピー』の国語で学習するおもな内容と大切なことがらです。

の数字は、教科書のページ数です。

2年 さけが大きくなるまで 下5~17

五・セン・チ・メ・ートル
などの数字にも、
注目して読むんじやよ。



春になるころ、五センチメートルぐらいになった。海にむかって川を下りはじめます。

秋になるころから……たまごをうみに、海から川へやってきます。

●さげが大きくなる様子を、順序よく書いた説明文です。

●時や場所を表す言葉に注意して読みます。

1年 はたらく じどう車 下11~19

「は……です。」
「ですから……。」という文型
に注意しよう。



バス	おおぜいのおきやくを のせてはこぶ。	たくさん のざせき をつりか わすすり
じどう車	やくわり	つくり

●子どもたちが日常目にする、「働く自動車」についての説明文です。いろいろな自動車の役割とつくり、仕事の仕方を読み取ります。

●バス、コンクリートミキサー車、ショベルカー、ポンプ車について、次のような表を作ってまとめます。

4年 こんぎつね 下5~27



栗や松茸をくれていたのがごんであることに気づいた時の、兵十の気持ちも考えてみよう。

- 人間(兵十)にいたずらの償いをする小
ぎつね(ごん)の物語です。
- **ごんの気持ちの変化**を読み取ります。
- ちよっといたずらがしたくなる。
- **いたずらを後悔する。**
- **いたずらの償いに鰯を投げ込み、栗や松茸を運ぶ。**
- **償いの気持ちを気づいてもらえない。**
- **火縄銃で撃たれて初めて、兵十に気持ちが通じる。**
- 



3年 わすれられないおくりもの 115~131



最初に料理を教えてください。

ネクタイの結び方を教えてくれた。

スケートの仕方を初めて
教えてくれた。

手をつないだもぐらの切り抜き方を教えてくれた。

●あなぐまと動物たちとの心のふれあいを描いた物語です。

●それぞれの動物の、心の中に生き続けるあなぐまの思い出を読み取ります。

6年 ぼくの世界, 君の世界 下8~19

●事実と筆者の意見の関係をおさえながら
説明文を読み取ります。

次の例は、筆者がどのようなことを言いたいために挙げているのかを考えよう。



- 1 電球を見た体験
↓ 自分以外の人には、全然ちがったふうに見えているのかもしれない。
- 2 「あまみ」と「痛み」の感覚
↓ あまみと痛みの程度は、人によってちがうのではないか。
- 3 好きなアニメについての会話
↓ 言葉のキャッチボールは大切だ。

5年 エーアイ AIとの暮らし 112~117

●「A（人工知能）」について、ミニディベ
トをして、自分の考えを広げます。
【ミニディベト】…役割を決め、対立す
る二つの立場から意見を述べべ
る話し合い。

役割

- 利点の立場からの意見を述べる役
- 問題点の立場からの意見を述べる役
- それぞれの意見を聞いて考える役

事前にテーマについて調べて、意見の根拠となるデータや具体例を示しながら、わかりやすく話そう。

意見を聞くときは、自分の考えと比べながら聞こうね。

